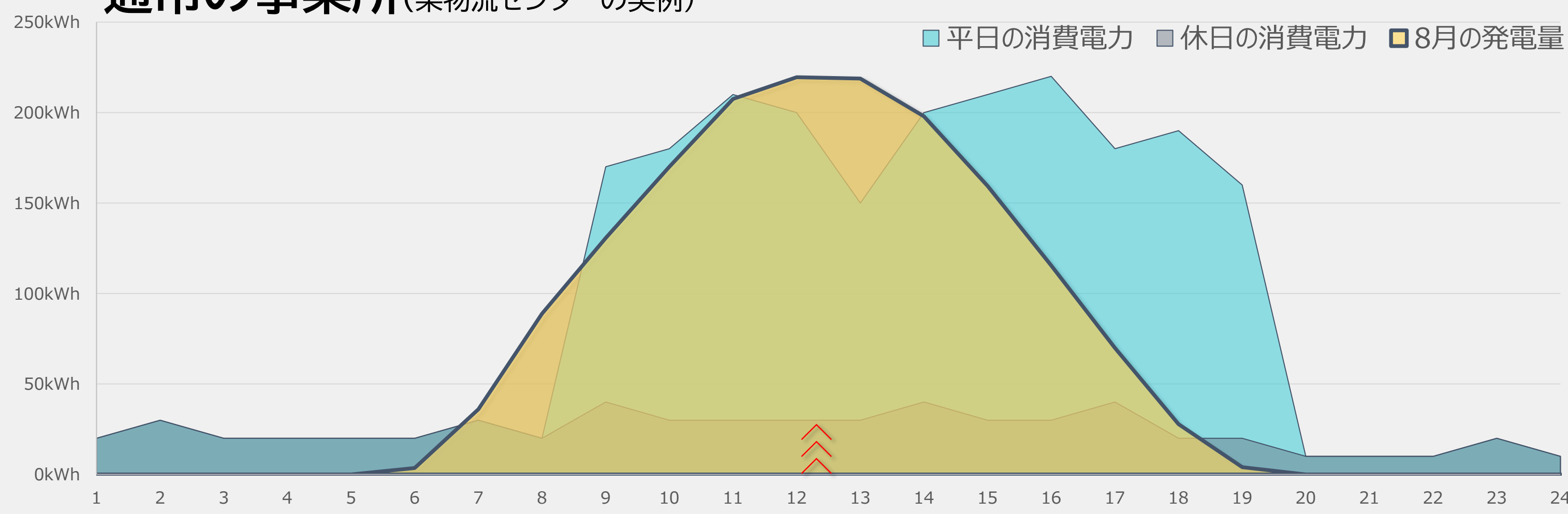


冷蔵冷凍設備には自家消費型太陽光発電システムが最適

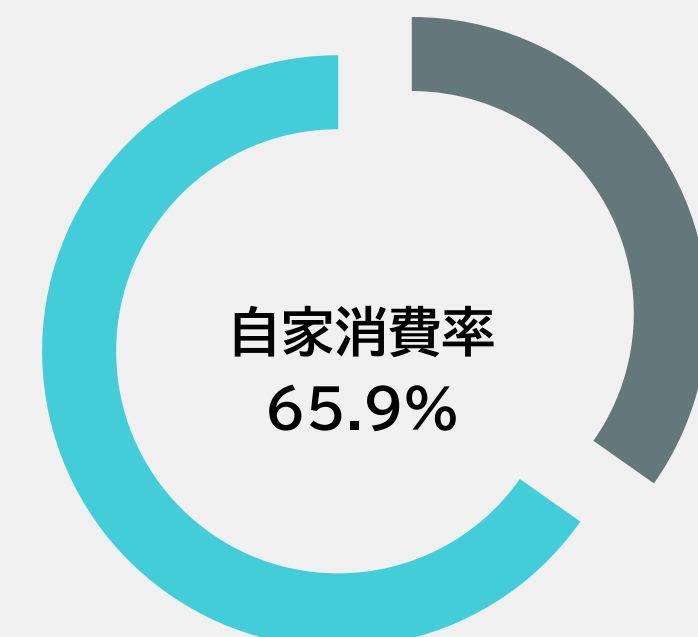
自家消費型太陽光発電システムによって、電気代を大幅削減。

通常の事業所においても大幅な電気代カットが見込まれる太陽光発電システム。冷凍冷蔵庫においては無駄が少なく、さらに大きな削減効果を生む。

通常の事業所 (某物流センターの実例)

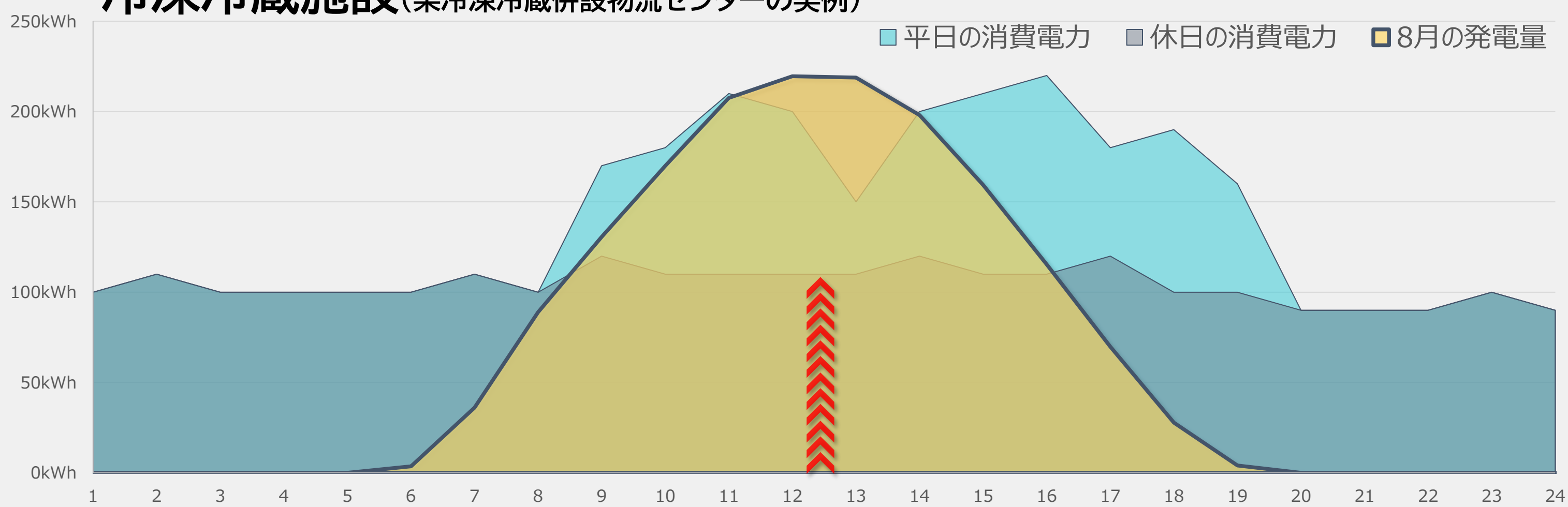


■ 余ってしまう電力 ■ 消費できる電力

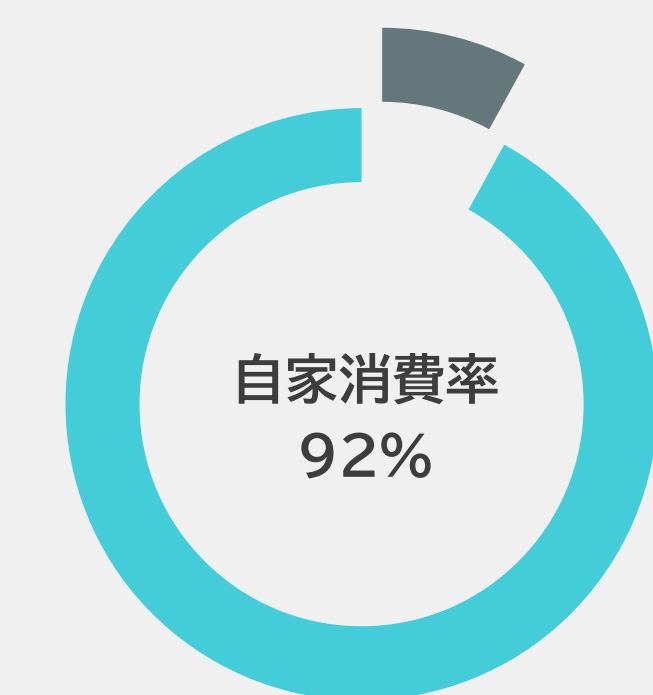


通常の事業所では、主に休日にせっかく発電した電力を使い切れない状況が発生します。

冷凍冷蔵施設 (某冷凍冷蔵併設物流センターの実例)



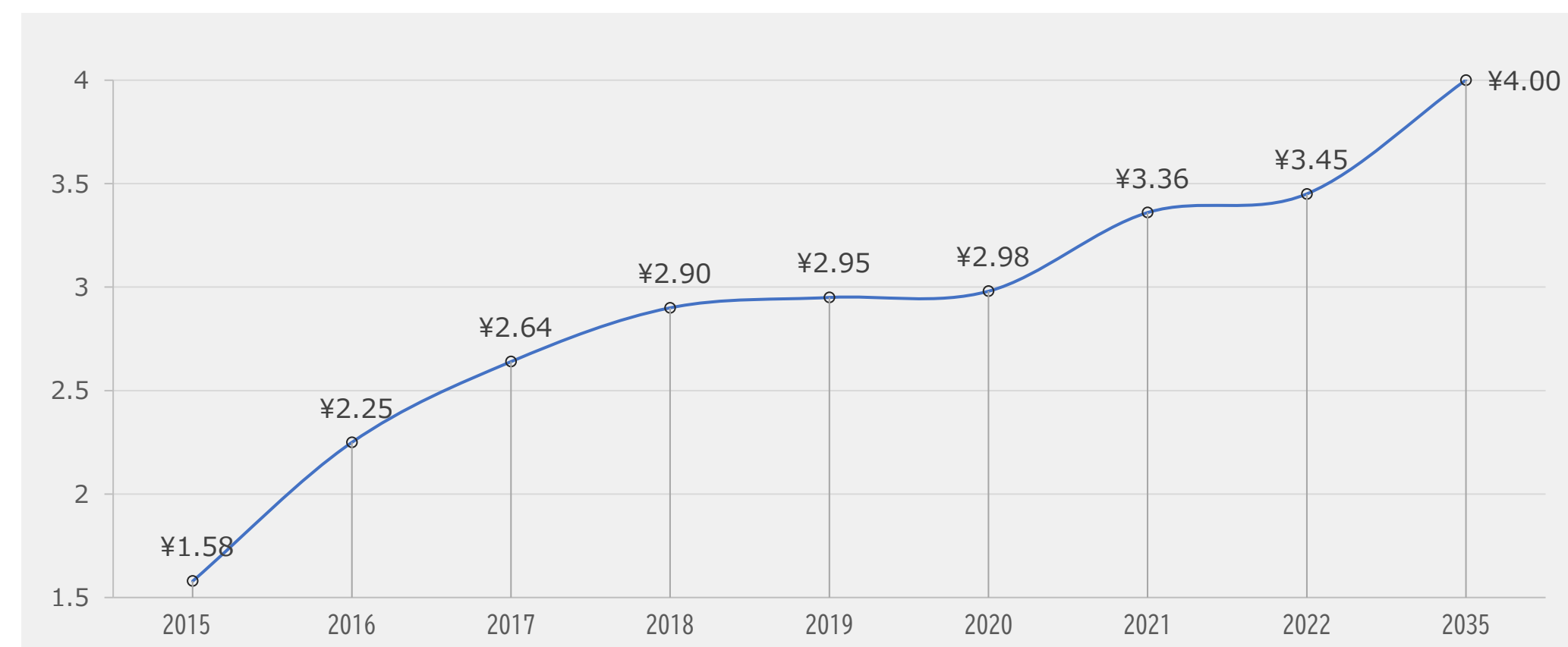
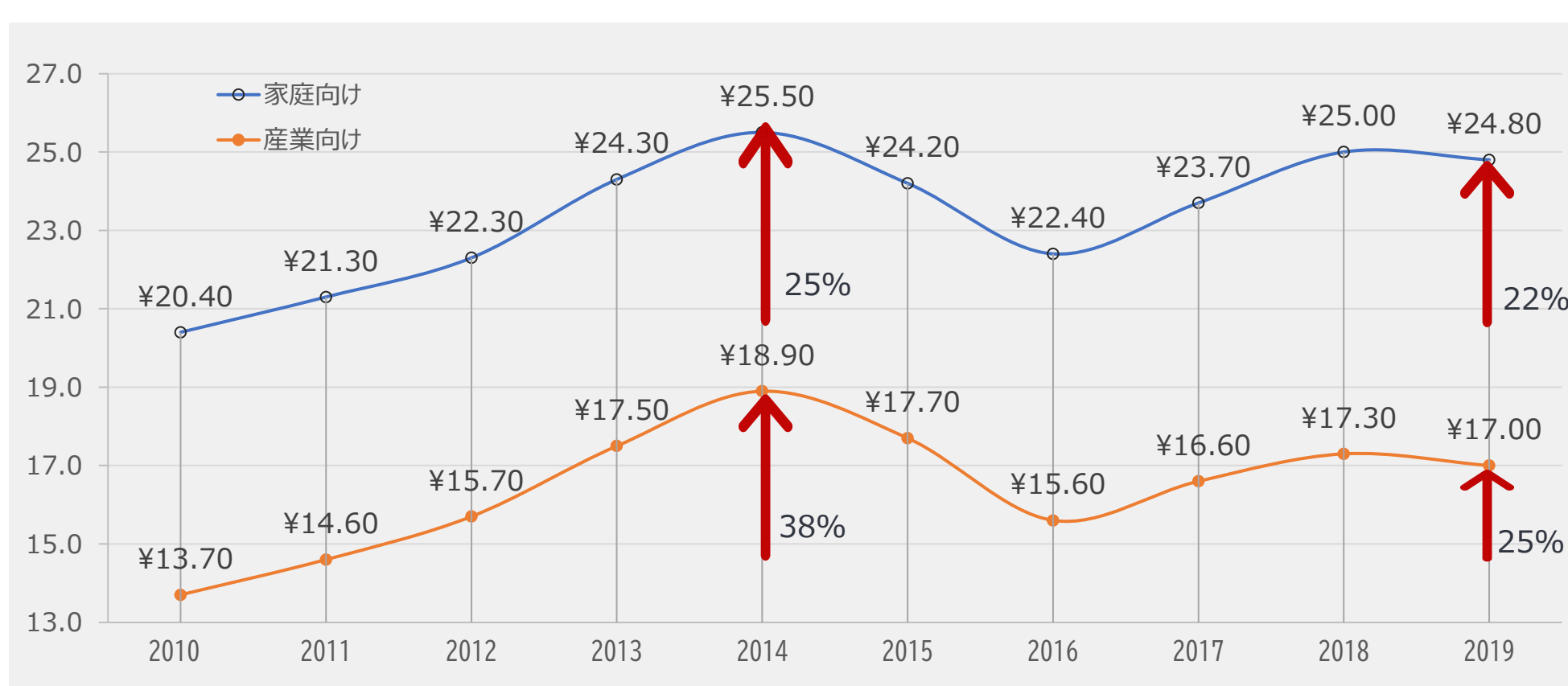
■ 余ってしまう電力 ■ 消費できる電力



一方、冷凍冷蔵設備を持つ事業所では休日にも電力需要が大きいいため、設備の利用率が上がり投資回収までの期間が短縮します

ますます高まっていく電力の価値。

太陽光発電システムで賄える従量電力料金は電力単価+再エネ賦課金。どちらも上昇を続けており、安価な太陽光による電力消費で計画的な事業継続を実現。



従量
料金

平均電力単価の推移

2014年のは東日本大震災前に比べ、家庭向けでは約25%、産業向けで約38%上昇。以降は下落していたものの、直近では再び上昇し、2010に比較して家庭向けで約22%、産業向けでは約25%高い水準にある。

再エネ
賦課金

再エネ賦課金の推移

2012年8月当初は1キロワット時あたり0.22円だった再エネ賦課金。直近2022年5月は3.45円まで増額されています。固定価格買取制度の認定状況から、認定済みの発電所の稼働開始が続く2035年ごろまでは増え続け、2040年まで賦課されると言われる。

MITSUBISHI
HEAVY
INDUSTRIES
GROUP

三菱重工冷熱

三菱重工冷熱は2010年からの販売、設計・施工の実績から お客様に最適なお提案を致します

2002年～ 三菱重工工業株式会社による太陽光パネル製造・販売を開始 ※主に海外向けが中心
2010年～ 三菱重工冷熱(当時:三菱重工空調システム)において、国内需要増(固定価格買取制度普及)に伴い、施工・販売を開始
2012年～ 三菱重工製および他社パネルメーカーの取扱いにより産業用太陽光発電システム取組本格化。
2016年 青森県において三菱重工冷熱の、初メガソーラー発電所を完工



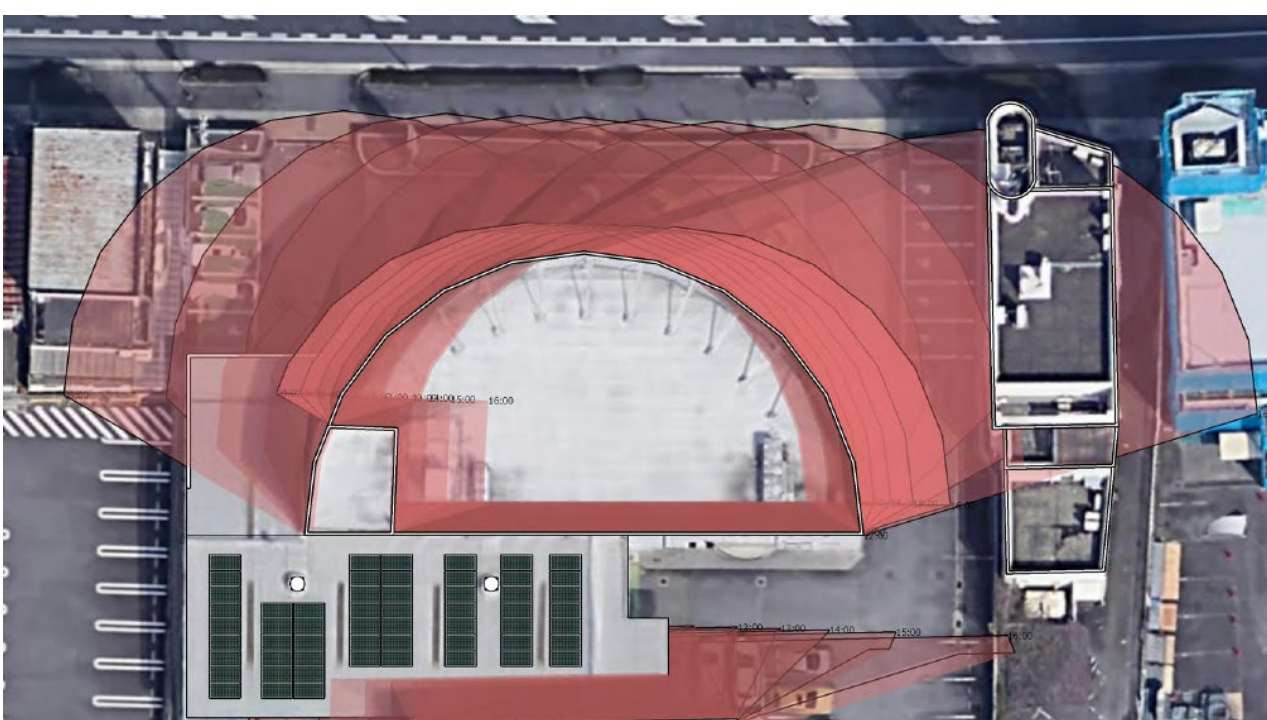
▲ メガソーラー設計 ▲ メガソーラー施工
▼ ショッピングセンターカーポート

▲ 物流センター屋根
▼ 事業所従業員向けカーポート 両面発電モジュール

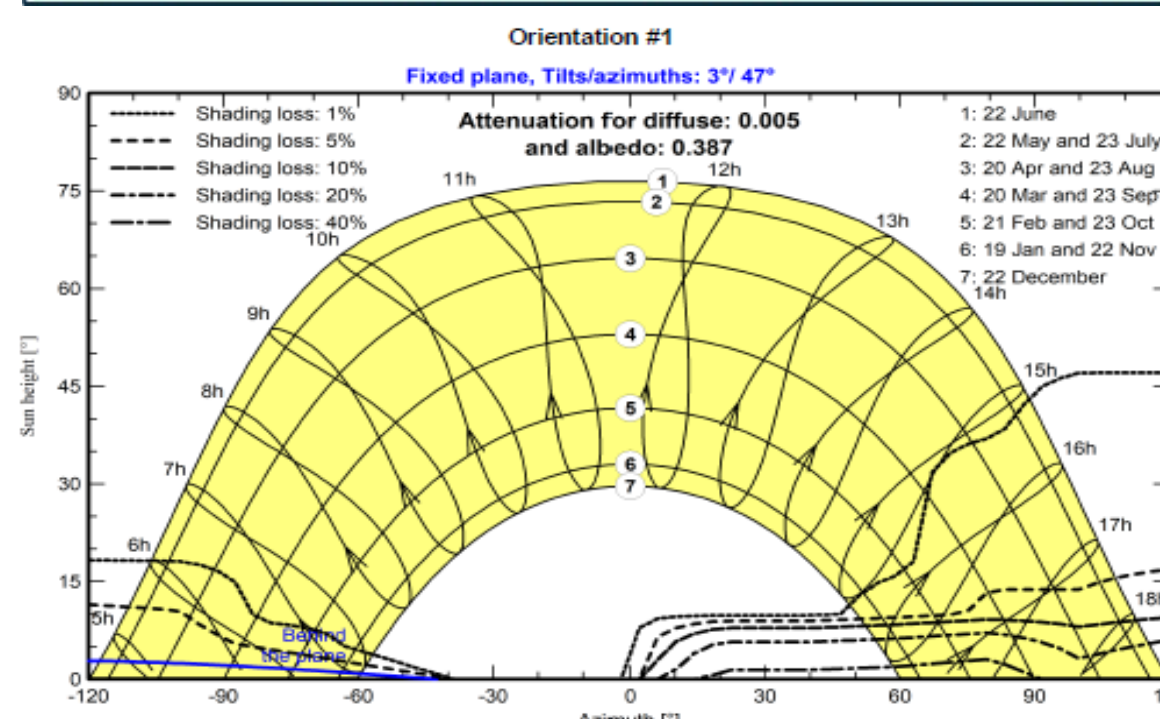


設置条件を選ばない多彩な提案で、最適な発電システムをご提案いたします。
三次元設計を基本とし、周囲の環境も加味した条件のもと、信頼性の高い収支シミュレーションをご提示。システム設計・施工まで一貫してお手伝いいたします。

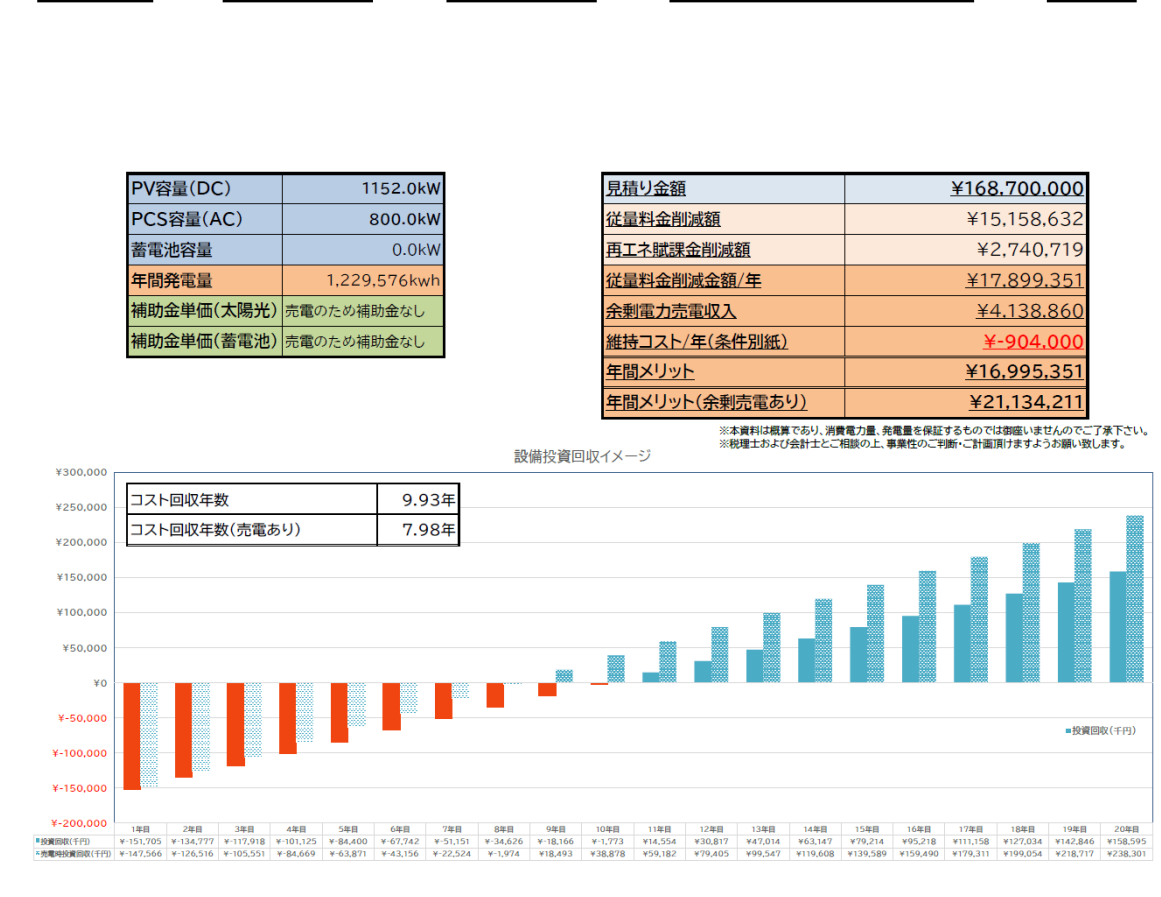
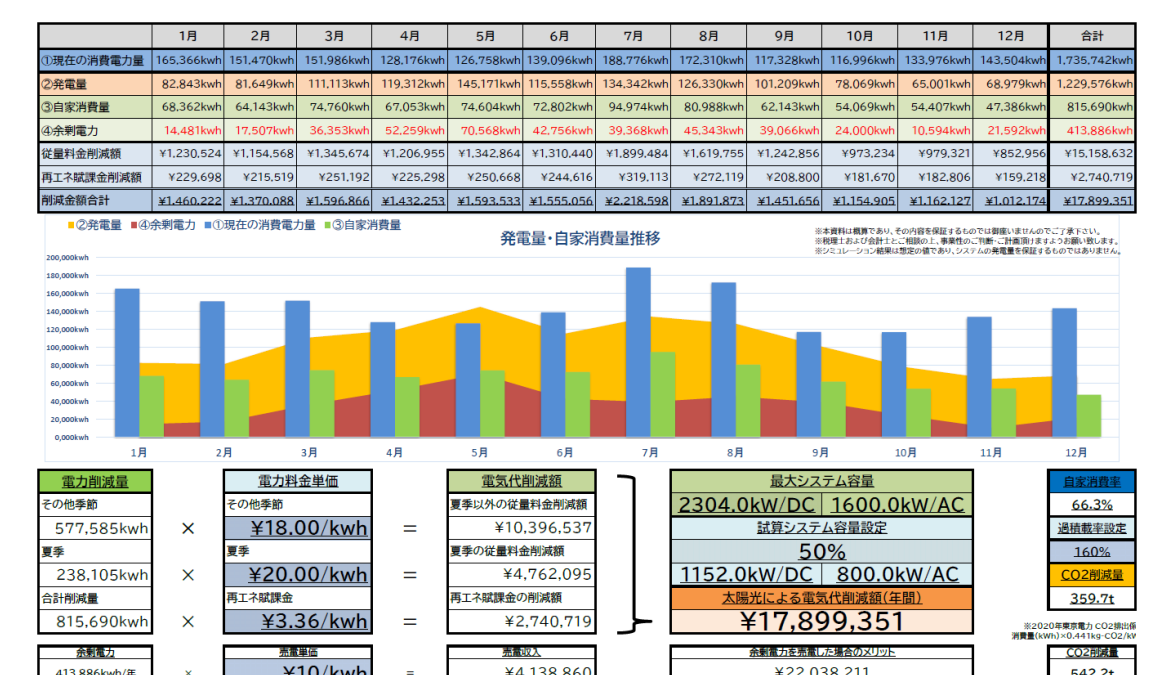
①3Dで影のかかる範囲を推定



②複数のシミュレーションソフトにより 試算の前提となる予想発電量を算出



③事業収支シミュレーション



MITSUBISHI
HEAVY
INDUSTRIES
GROUP

三菱重工冷熱